

IV 研究の実際

1 第1学年の実際

(1) 単元構想

単元名	いろであそぼう		
単元の目標	(1) 色を表す単語を知り、聞いたり言ったりすることができる。 (2) ゲームを通して、色を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (3) 色を表す単語や表現を使って、相手に分かるように、ほしい色を伝え合おうとする。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	色の言い方やRed please. Here you are. について理解している。	色を表す単語や表現を使って、ほしい色(好きな色)について伝え合っている。	スマイルなどを意識しながら、楽しんで友達とのコミュニケーションを図ろうとしている。
単元終了時の児童の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
相手に配慮しながら、自分の欲しい色を伝えたり、友達の欲しい色を渡したりしようとする児童			
単元を通した学習課題(単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
家族に『てんとう虫のメッセージ』を贈るために、ほしい色(好きな色)などを伝え合おう。		他者に配慮しながら、ほしい色(好きな色)などを伝え合うこと。	
指導計画と評価計画(4時間取扱い、本時4/4)			
時	学習活動		評価の観点★は「具体の評価規準」
1	○単元のゴールを知る。 ○色を表す単語を知る。 red yellow blue green orange purple black pink white		〈知識・技能〉(行動観察) 色を表す言い方を理解している。 リズムや発音に気付いている。
2	○色を表す表現を使ってゲームを楽しもうとする。 ①色を表す単語を聞いたり、言ったりする。 ②欲しい色を伝えたり、答えたりする。 Red please. Here you are. No, sorry...		★〈知識・技能〉(行動観察) 色を表す言い方を理解している。 ★〈思考・判断・表現〉(行動観察) 欲しい色を伝えたり、答えたりしている。
1	○欲しい色を伝えて集めたり、渡したりする。 ・色を集めて『てんとう虫のメッセージ』を作り、自分が作ったカードを紹介する。		★〈主体的に学習に取り組む態度〉 (行動観察・ワークシート) 友達に欲しい色を伝えて集めたり、友達の言った色を渡したりしている。 スマイル、アイコンタクトなどに気をつけながら伝え合おうとしている。

(2) 研究の視点

視点1 興味・関心を高める必然性のある場面設定

- 単元のゴールとなるコミュニケーション活動として『家族へ、てんとう虫のメッセージを贈ろう』を設定することで、色の言い方、お店でのやりとりの仕方を知りたいという思いや多くの友達と交流し、いろいろな色を集めてプレゼントし、家族に喜んでもらいたいという願いを高めた。
- コミュニケーションのポイント（スマイル、アイコンタクト、クリアボイス）の絵カードを活用することで、視覚的に理解できるようにした。

視点2 一人一人が英語に慣れ親しむための工夫及び低・中学年の系統化

- 効果的で変化のあるチャンツやゲームを行ったりして楽しく表現に慣れ親しませた。

本単元で行ったチャンツ	本単元で行ったゲーム
・colorsチャンツ red yellow blue green orange purple black pink white…	・キーワードゲーム
・Red pleaseチャンツ Here you are. No, sorry.	・タッチゲーム ・ビンゴゲーム ・カルタゲーム ・しんけいすいじゃくゲーム

- 新しい表現を指導する際には、ALTや担任の会話モデルを見せ、表現を聞き取らせたり、リズムや発音を意識させたりするようにした。
- コミュニケーション活動で使用する表現を一人で、ペアで、グループで、全員で練習し、自信をもって尋ねたり答えたりで知るようにした。
- 支援を要する児童には、声かけしたり友達や担任と一緒に活動したりして、自信を持って学習できるようにした。
- 中学年への系統においては、3年の学習「I like blue.」(Let's try! Unit4)の色の言い方や、好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現につながっている。

視点3 他教科との関連

- 生活科との関連

生活科「じぶんでできるよ」の学習で、家族への感謝の気持ちを伝えるメッセージを書き、そのメッセージカードの表紙をてんとう虫の絵にして、カラーシールをデザインした。


視点4 評価の工夫

- 中間評価では指導者が、発音やリズム、コミュニケーションのポイントを意識しながら活動している児童を積極的に評価し、全員で共有した。
- ふり返しカードには、1単位時間の目標を記入しておき、その目標の達成状況をマークで自己評価できるようにした。また、感想や友達のきらりは、口頭で伝えるようにした。
- ふり返しカードを活用し、よりよいコミュニケーションや活動への意欲を高めた。

(3) 本時の学習

①目標 「てんとう虫のメッセージカード」作りを通して、欲しい色を伝えたり、渡したりして、楽しみながらコミュニケーションを図ろうとする。

②展開

	学習活動	教師の支援・評価
た し か に 出 会 う	<p>1 Greeting あいさつをし、「Hello song」を歌う。</p> <p>2 Warm up 絵本の読み聞かせをする。</p>  <p>What's this? Dog! What's color? White!</p> <p>3 Today's Goal 本時のめあてを確認する</p> <p>家族に贈る 『てんとう虫のメッセージカード』を作ろう。</p>	<p>○楽しい雰囲気をつくった。</p> <p>【視点2】 本時に関連する絵本を読み聞かせ、一緒に聞いたり言ったりすることで表現に慣れ親しませた。</p> <p>【視点1】 いろいろな色を集めてプレゼントし、家族に喜んでもらいたいという意欲を高めた。</p>
か ん が え や っ て み る	<p>4 Chant colors チャンツ Red please チャンツ orange purple black pink white…</p>  <p>5 Game 色のペアカード集めゲームをする。</p>  <p>Red please. Here you are. Thank you. No, sorry.</p>	<p>【視点2】 リズムに合わせて発音し、テンポを変えたり役割を分けたりして繰り返しチャンツした。</p> <p>【視点2】 「ペアカード集めゲーム」はシール屋さんでやりとりする表現を繰り返し練習させ自信を持たせるために行った。</p>
き づ き	<p>6 Activity 「てんとう虫のメッセージカード」作りをする。</p> <p>①活動の進め方を確認し、半数がシール屋さんに、半数がお客さんになることを伝える。</p>	<p>【視点3】 メッセージカードやカラーシールを準備し、お店のイメージがわくようにした。</p>

親しみ伝え合う



パペットでデモンストレーション

A・B (客・店) : Hello.
 A (客) : ~please.
 B (店) : Here you are.
 (No, sorry.)
 A (客) : Thank you.
 B (店) : See you.

②よりよいやりとりを紹介する。



分かりやすく伝えて
いるな。ジェスチャーもいいね。



③役割を交代する。



④作ったカードを紹介する。



私のお母さんは、きれいな色が好きなのでカラフルなてんとう虫にしました！

【視点2】

いろいろなパターンで練習し自分が気を付けることを確認することで自信を持たせた。

【視点4】

中間評価を行い、相手をよく見てはっきり話している児童やリアクションしている児童を紹介し、よりよいコミュニケーションに気付かせた。

【具体の評価規準】

★〈主体的に学習に取り組む態度〉
 (行動観察・ワークシート)

友達に欲しい色を伝えたり友達の言った色を渡したりしている。
 クリアボイスなどに気をつけながら伝え合おうとしている。

【視点1】

メッセージカードを紹介する場面では、家族への思いや願いを伝えたいという意欲を高めた。

これまでを振り返る

7 Looking back 振り返りシートを書き発表する。



大きな声で言えたのでよかったです。

～さんが、にこにこで話していたのがいいなと思いました。

8 Ending あいさつをする。

○自分の頑張りやよかったところ友達のきらりを振り返らせた。

【視点4】

振り返りカードを工夫し、学習のめあての達成状況をにこにこマークで自己評価したり、友達のきらりを口頭で伝え合ったりし、次の学習の意欲につなげた。